

# 面接のポイント

## 個人面接 総合型選抜・一般選抜（後期）

### 形式

#### 総合型選抜

受験生1名に対して面接官2～3名の個人面接を15分程度

#### 一般選抜（後期）

受験生1名に対して面接官2～3名の個人面接を10分程度

### 質問内容

出願時に提出された「志望理由・自己PR書」又は「志望理由・学修計画・意欲などを記載した書類」を参考に行います。

### 評価のポイント

- ✓ 自分の強みや意欲を積極的にアピールすることが重要です。
- ✓ 本学看護学部（仮称）で何を学びたいのか、目的意識を持っているかを中心に、課題に取り組む主体的・積極的な姿勢があるかなどを重視して審査します。

Q 医療や看護の専門知識を聞かれますか？

A 医療や看護の、専門知識の有無を評価対象にすることはありません。看護学に関する学修に意欲的に取り組むことができるかを確認します。ただし、志望理由などの質問に関連して、目指す看護職について正しく理解できているかを確認することはあります。

Q 提出書類（志望理由書等）は、面接会場に持ち込めますか？

A 提出した書類を見ながら面接試験を受けることはできません。（控室までは持込可）

## グループ面接 学校推薦型選抜（公募制）

### 形式

当日配付の出題テーマについて、1グループ5～6人程度でディスカッション（意見交換）を行います。（全体で20分程度）

### 質問内容

100字程度の出題テーマに関する課題文を読んで、自身の意見や考えをまとめ、同じグループのメンバーと意見交換をします。受験生の論理的思考力、傾聴力、主体性・積極性などを審査するためのものであり、思想・信条を評価の対象とするものではありません。

### 評価のポイント

- ✓ アドミッションポリシーに基づき、他者との関係性の構築に前向きに取り組むことができるか、相手の話に耳を傾けることができるかなどコミュニケーション力についても評価します

Q 出題テーマはどのようなものですか？

A 出題テーマは保健・医療・福祉を中心に提示されますが、医療や看護の専門知識の有無を問うものではありません。

Q 緊張して発言できなかった場合は不合格になりますか？

A 試験中に一人1回は発言する機会を設けます。また、学校推薦型選抜は、書類審査、学力検査などその他の試験科目と合わせて、学力の3要素をバランスよく評価する入試方式です。グループ面接の結果だけで合否を判定することはありません。